

(株) ○○○
省エネルギー診断
報告書

令和4年○月○日

作成者：エネルギー管理士（登録番号*****）

○ ○ ○ ○

I.会社概要と施設及び取組の現状

(1) 会社概要

創業年月：

業種・事業内容：

事業規模（年間売上、製品出荷量など）：

本社所在地：

代表者名：

<省エネ診断対象施設>

住所：

施設責任者職名・氏名：

施設従業員数：

敷地内建屋数：

対象施設種別：

建物面積：

建物構造：

建物の階数：

(2) 令和3年度の環境負荷と環境活動等

<電力>

電力会社名 :

契約種別 :

電気使用量 : k Wh/年

<ガス>

ガス会社名 :

契約種別 :

ガス使用量 : m³/年

<燃料種別および使用量>

ガソリン : 0/年

軽油 : 0/年

重油 : 0/年

<水道>

供給者名 :

使用量 : m³/年

令和3年度

温室効果ガス排出量計算表

事業者名:
事業所名:

計算方法								
「①使用量」欄に、事業所で使用した燃料、熱、電気ごとの年度(4/1~3/31)の使用量を記入してください。								
<p>(1) 「液化石油ガス(LPG)」については、供給事業者からの使用量がm^3で表示されている場合、tに換算する必要があります。換算係数は、ガス会社により異なるので、ガス会社に確認の上、換算します。不明の場合はプロパン: $1m^3=1/502t$、ブタン: $1m^3=1/355t$、プロパン・ブタン混合: $1m^3=1/458t$とします。</p> <p>(2) 「都市ガス」については、「③排出係数」として日本ガスの排出係数を入力してあります。日本ガス以外から供給を受けている場合は参考1の排出係数に書き換えて算定を行ってください。</p> <p>(3) 「電気」については、「③排出係数」として九州電力の排出係数を入力してあります。九州電力以外から供給を受けている場合は参考3の排出係数に書き換えて算定を行ってください。(*電気事業者: 電力の供給を受ける小売電気事業者)</p> <p>(4) 燃料及び熱のCO₂量は、参考2を使用して算定してください。</p> <p>参考1「都市ガスの熱量換算係数」 参考2「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」 参考3「電気事業者別二酸化炭素排出係数」 参考1~3の掲載場所(県HP) https://www.pref.kagoshima.jp/ad02/kurashi-kankyo/kankyo/ondanka/iyorei/ontaimanyuaru.html</p>								
エネルギーの種類	単位	①使用量	②熱量換算係数	熱量(GJ)	③排出係数	CO ₂ 排出量(t-CO ₂)		
燃料及び熱	原油(コンデンセートを除く。)	kl		38.2	0.0	0.0187	0.0	
	原油のうちコンデンセート(NGL)	kl		35.3	0.0	0.0184	0.0	
	揮発油(ガソリン)	kl		34.6	0.0	0.0183	0.0	
	ナフサ	kl		33.6	0.0	0.0182	0.0	
	灯油	kl		36.7	0.0	0.0185	0.0	
	軽油	kl		37.7	0.0	0.0187	0.0	
	A重油	kl		39.1	0.0	0.0189	0.0	
	B・C重油	kl		41.9	0.0	0.0195	0.0	
	液化石油ガス(LPG)	t		50.8	0.0	0.0161	0.0	
	液化天然ガス(LNG)	t		54.6	0.0	0.0135	0.0	
	都市ガス	千 m^3		46.04655	0.0	0.0136	0.0	
	その他燃料						0.0	
	産業用蒸気	GJ		1.02	0.0	0.060	0.0	
	産業以外の蒸気	GJ		1.36	0.0	0.057	0.0	
	温水	GJ		1.36	0.0	0.057	0.0	
	冷水	GJ		1.36	0.0	0.057	0.0	
燃料及び熱 小計			熱量小計(GJ)		0.0	CO₂量小計	0.0	
電気	電気事業者*九州電力(株)(昼間買電)	千kWh		9.97	0.0	0.344	0.0	
	電気事業者*九州電力(株)(夜間買電)	千kWh		9.28	0.0	0.344	0.0	
	電気事業者*() (昼間買電)	千kWh		9.97	0.0		0.0	
	電気事業者*() (夜間買電)	千kWh		9.28	0.0		0.0	
					9.97	0.0		0.0
					9.28	0.0		0.0
	(昼間買電)合計	千kWh	0.0	—	0.0	—	0.0	
	(夜間買電)合計	千kWh	0.0	—	0.0	—	0.0	
	屋久島電工株式会社	千kWh		0.032	0.0	0.0022	0.0000	
	その他(自家発電)	千kWh		—	—	—	—	
電気 小計			熱量小計(GJ)		0.0	CO₂量小計	0.0	
燃料・熱・電気 合計			熱量合計(GJ)		0.0	CO₂量合計	0	
			原油換算係数		0.0258			
			原油換算エネルギー使用量(kl)		0			

備考1 原油換算エネルギー使用量: 熱量合計(GJ)×原油換算係数(0.0258)
※使用した燃料及び他人から供給された熱・電気の熱量合計

備考2 CO₂排出量=下記 i)~iii)の合計

i) 燃料の使用に伴うCO₂排出量

①(燃料の種類ごとに) 燃料の使用量(t, kl, 千 m^3) × ②熱量換算係数 × ③排出係数(t-C/GJ) × 44/12

ii) 他人から供給された熱の使用に伴うCO₂排出量

①(熱の種類ごとに) 熱の使用量(GJ) × ②熱量換算係数 × ③排出係数(t-CO₂/GJ)

iii) 他人から供給された電気の使用に伴うCO₂排出量

<再生可能エネルギー施設導入状況>

太陽光発電

(規格及び基数)

風力発電

(規格及び基数)

小型風力発電 (20kW以下)

(規格及び基数)

バイオマス発電

(規格及び基数)

水力発電

(規格及び基数)

地熱発電

(規格及び基数)

太陽熱利用

(規格及び基数)

冰雪熱利用

(規格及び基数)

温度差発電

(規格及び基数)

地中熱利用

(規格及び基数)

再エネ機器に関する評価

<省エネ設備導入状況> (導入済みのものに○)

[発電・給湯・暖房]

() 燃料電池 (エネファーム) [灯油・LPG・都市ガス・他] [台数]

() ガスマイクロタービン (エコウイル) [台数]

発電に関する評価

[給湯]

() 電気ヒートポンプ給湯 (エコキュート) [台数]

() ガスヒートポンプ給湯 [台数]

() 高効率湯沸かし器 (エコジョーズ) [台数]

() 石油温水器 (トップランナー機器) [台数]

() ボイラー等その他形式及び台数

[]

給湯に関する評価

[空調]

() 電気ヒートポンプ空調 インバーター式 [APF]

() ガスヒートポンプ空調 [APF]

() 集中空調等その他形式

[]

空調に関する評価

[キュービクル (変圧器)]

() 高効率トランス

変圧器に関する評価

〔照明〕

() LED 照明 導入率 (全体の約 %)

照明に関する評価

〔その他省エネ機器〕

() 照明人感センサー

() 空調機内蔵人感センサー

() 手洗い水栓等への人感センサー

() デマンドコントローラー

() 自動ミスト・散水装置

() その他 ()

その他省エネ機器に関する評価

〔建屋の断熱〕

断熱塗装 (屋根・壁・窓)

断熱材

遮熱塗装 (屋根・壁・窓)

断熱窓 (LOW-e ガラス・複層ガラス・フィルム・樹脂枠)

建屋の断熱に関する評価

その他機器 (テレビ、冷蔵庫、電気便座、自販機、調理器)

その他機器に関する評価

OA 機器 (PC・複合機・プリンター・ルーター・ハブなど)

OA 機器に関する評価

(3) エネルギー管理状況の評価

①管理体制

②運転管理

③計測・記録

④保守・管理

⑤エネルギーの見える化

⑥PDCA サイクル

⑦環境マネジメントシステム

種 別：

初回登録日：

最新更新日：

環境管理責任者・担当

エネルギー管理状況及び体制の評価

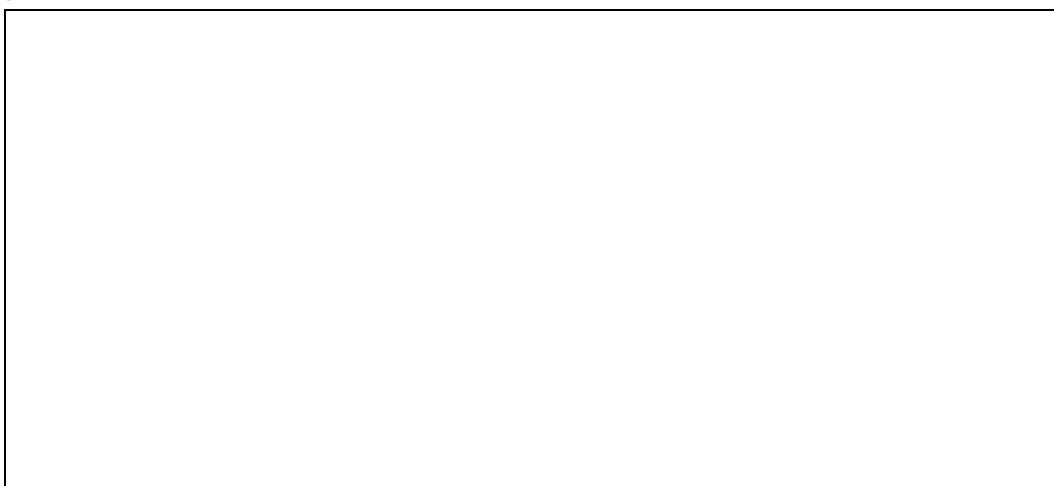
(4) これまでのエネルギー改善等の取組状況

事業者へのヒアリング等によりとりまとめてください。

①ソフト面での取組

A large, empty rectangular box with a black border, intended for the user to describe soft measures taken for energy improvement.

②ハード面での取組

A large, empty rectangular box with a black border, intended for the user to describe hard measures taken for energy improvement.

II.電力使用の実態把握

電気使用量・費用の経緯：過去3年間の系統別月毎推移グラフ

場所別の主な電力消費設備

(場所名：)

設備名	メーカー	形式	製造年	能力	台数	備考

電力使用に関する分析及び評価

--

Ⅲ.燃料使用の実態調査

燃料使用量・費用の経緯：過去3年間の系統別月毎推移グラフ

場所別の主な燃料消費設備

(場所名：)

設備名	メーカー	形式	製造年	能力	台数	燃料種別	消費量

燃料使用に関する分析及び評価

--

IV.総合評価及び省エネのための提案

1.総合評価

--

2.改善が効果的な機器等の種類及び台数とその効果及び導入費用

(1) 電力

--

(2) 燃料

--

(3) 建屋・機器の断熱遮熱

--

(4) 車両

--

(5) その他

--

3.運用改善の方策とそれにより期待される効果 (管理体制、PDCA など)

--

4.省エネに資する情報の提供など (補助金等の活用など)

--

V.省エネルギー化計画書

1 現状分析

これまでの省エネルギー化に向けた取組及び今後の課題	
---------------------------	--

※管理体制や設備の運転管理等の観点から事業者のこれまでの省エネルギー化に向けた取組及び今後の課題を記入してください。

2 計画期間

令和4年度～令和6年度（3年間）

※本計画は、令和4年度から令和6年度までの3年間で設定することとします。

3 省エネルギー化に向けた取組による温室効果ガス削減目標

令和3年度のCO ₂ 排出量実績（A）	t
令和6年度のCO ₂ 排出量目標（B）	t
目標削減率（C） $(A-B) / A \times 100$	%

※事業者で既に具体的な目標を設定している場合は記入してください。
目標が定められていない場合は、事業者と協議して適切な排出量目標を設定してください。

4 省エネルギー化に向けた今後の取組に係る基本方針

※ 「1 現状分析」に記入した今後の課題を踏まえ、基本的な方向性について記入してください。

5 省エネルギー化に向けた今後の具体的な取組の内容

今後の具体的な取組の内容

〈令和4年度〉

〈令和5年度〉

〈令和6年度〉

※事業期間を含めた令和4年度から令和6年度までの取組の内容を記入してください。

※スペースが足りない場合には、適宜スペースを追加の上、記入してください。

省エネルギー化計画書（事業所単位）

事業者名：
今回事業を実施する事業所名及び所在地
(事業所名)
(所在地)

1 省エネルギー化に向けた今後の具体的な取組の内容

	取組内容	取組前	取組後	CO ₂ 削減量 (t) (A-B)	投資額(千円)
		CO ₂ 排出量 (t) (A)	CO ₂ 排出量 (t) (B)		
令和 4 年度				0	
				0	
				0	
				0	
	合計(a)				0
令和 5 年度				0	
				0	
				0	
				0	
	合計(b)				0
令和 6 年度				0	
				0	
				0	
				0	
	合計(c)				0

※補助事業を実施する事業所での取組内容等を記入してください。

※各取組によるCO₂排出量などは、製品カタログ資料やメーカーへの聞き取りなどから算出し、可能な範囲で記入してください。

2 省エネルギー化に向けた取組による温室効果ガス削減目標

令和3年度 CO ₂ 排出量 実績(t)	令和6年度 CO ₂ 排出量 目標(t)	目標削減率(令和3年度に対する 令和6年度のCO ₂ 削減率)(%)
	0	

※補助事業を実施する事業所の排出量を記入してください。

※令和3年度のCO₂排出量については、「第1号様式別紙3-3 温室効果ガス排出量計算書」の「CO₂量合計」の値を記入してください。

事業者と協議しながら、ソフト面の改善と投資可能額を勘案してハード面での改善を設定して取組内容に記載してCO₂削減量の想定と必要な概算投資額を記入してください。